

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

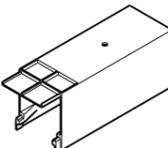
- レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・張直しをしないでください。
  - ・取付け前に取付け面を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
  - ・取付け面に強く押付け、必ず圧着してください。
  - ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。
- 収納枠取付け後、収納枠を引き、袖・方立から外れないことを確認してください。
- 網戸の収納枠は、必ず引戸の収納枠側(袖・方立)に取付けてください。網戸が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願

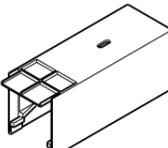
●必ず指定のねじで取付けしてください。

■組立て部品・ねじ一覧表

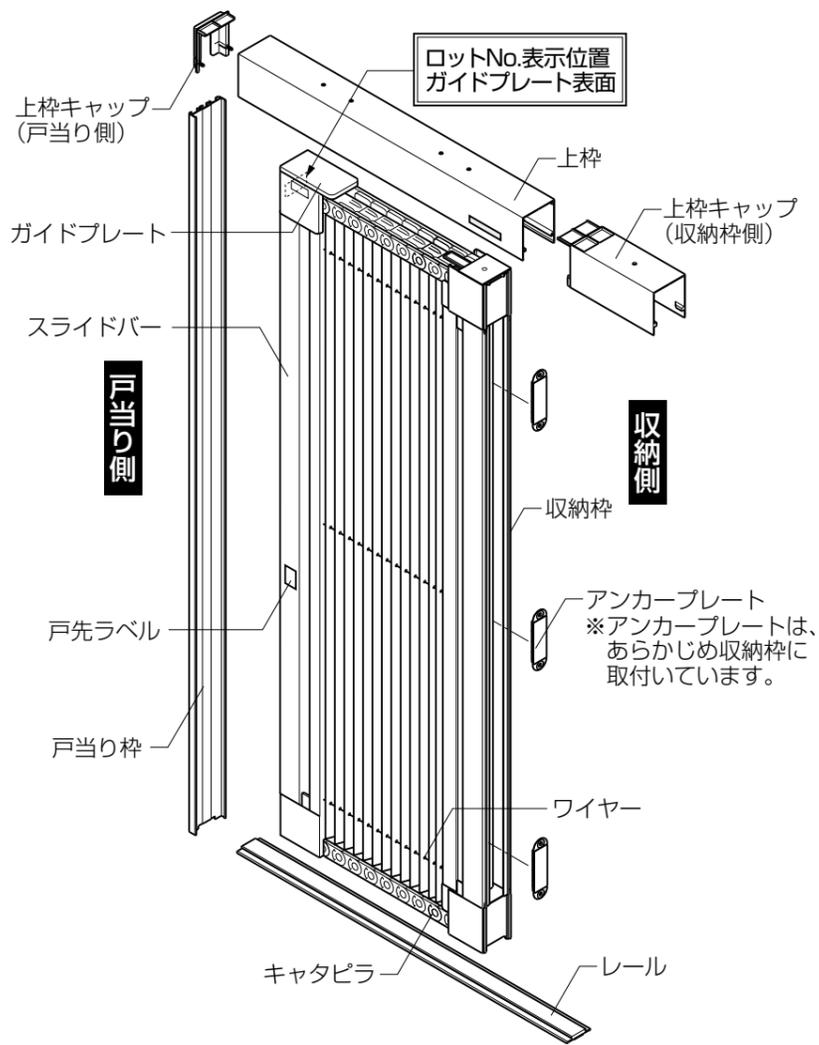
■袖付2枚引き用

部品セット			
上枠キャップ(収納枠側)	上枠キャップ(戸当り側)	レール下スペーサー	ナベタッピン ねじφ3.5×16
			
部品セット		下がり止めブラシセット	
パーリングテクス ねじφ4×10	パーリングテクス ねじφ4×15	下がり止めブラシ	ブラシストッパー
			

■一本引き用

部品セット			
上枠キャップ(収納枠側)	上枠キャップ(戸当り側)	ナベタッピン ねじφ3.5×16	パーリングテクス ねじφ4×15
			
下がり止めブラシセット			
下がり止めブラシ	ブラシストッパー		
			

■各部名称図



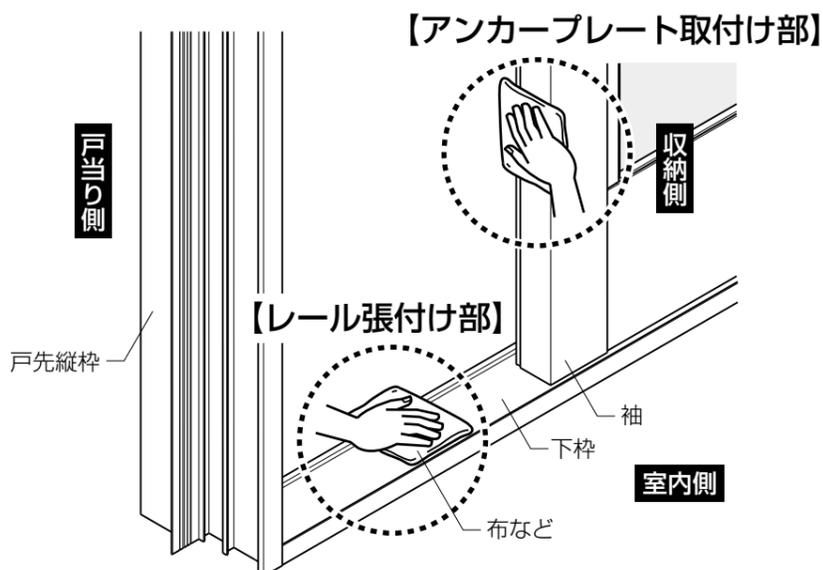
■取付け順序

1 取付け個所の清掃

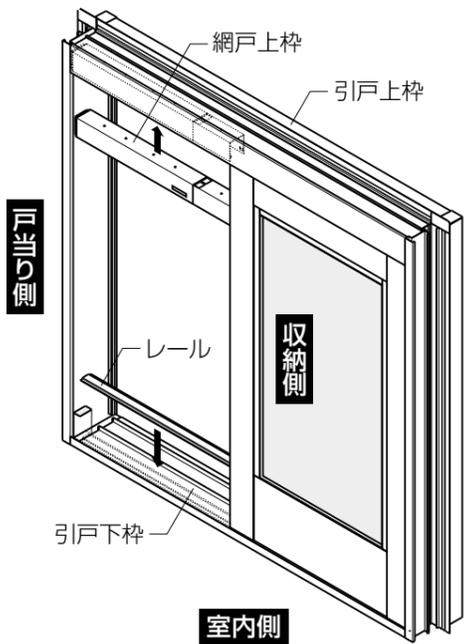
■取付け詳細

1 取付け個所の清掃

- ①網戸取付け面を、必ず布などで清掃してください。
- ②清掃した面にホコリ・油などが付いていないことを確認してください。



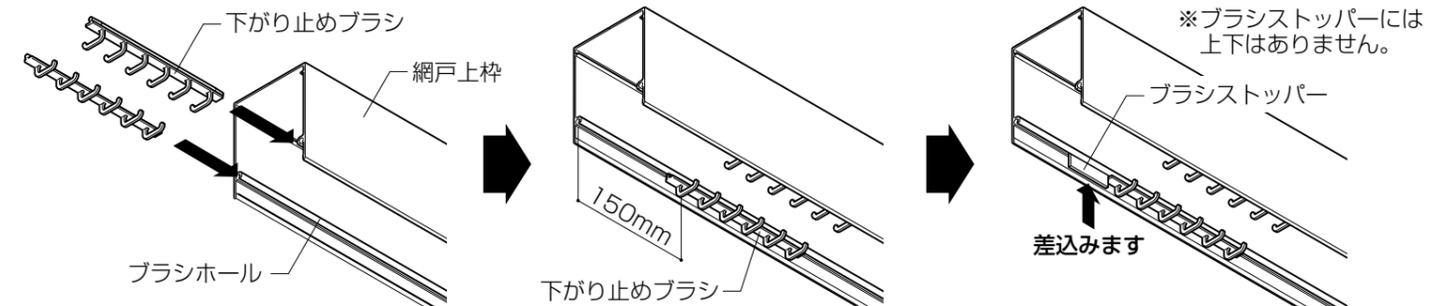
## 2 枠材の取付け



## 2 枠材の取付け

### 1) 下がり止めブラシの取付け

- ① 下がり止めブラシを網戸上枠のブラシホールに挿入してください。  
※両側のブラシホールに同数挿入します。
- ② 下がり止めブラシは、網戸上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両端の下がり止めブラシがないところの寸法が150mm以下の場合、下がり止めブラシを1つ外してください。
- ③ ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。
- ④ ブラシホールにブラシストッパーを差込み、網戸上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定してください。

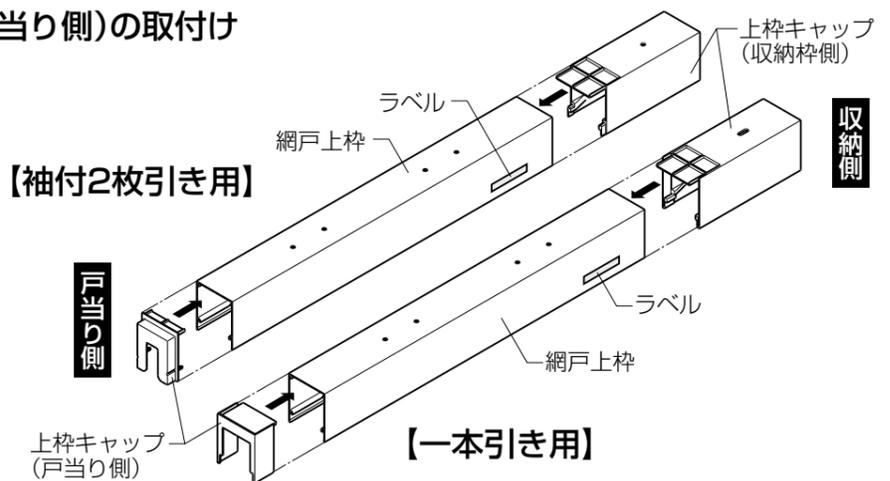


### 2) 上枠キャップ(収納枠側・戸当り側)の取付け

- 上枠キャップ(収納枠側)を網戸上枠の収納枠側に、上枠キャップ(戸当り側)を網戸上枠の戸当り側に差込んでください。

【袖付2枚引き用】

【一本引き用】

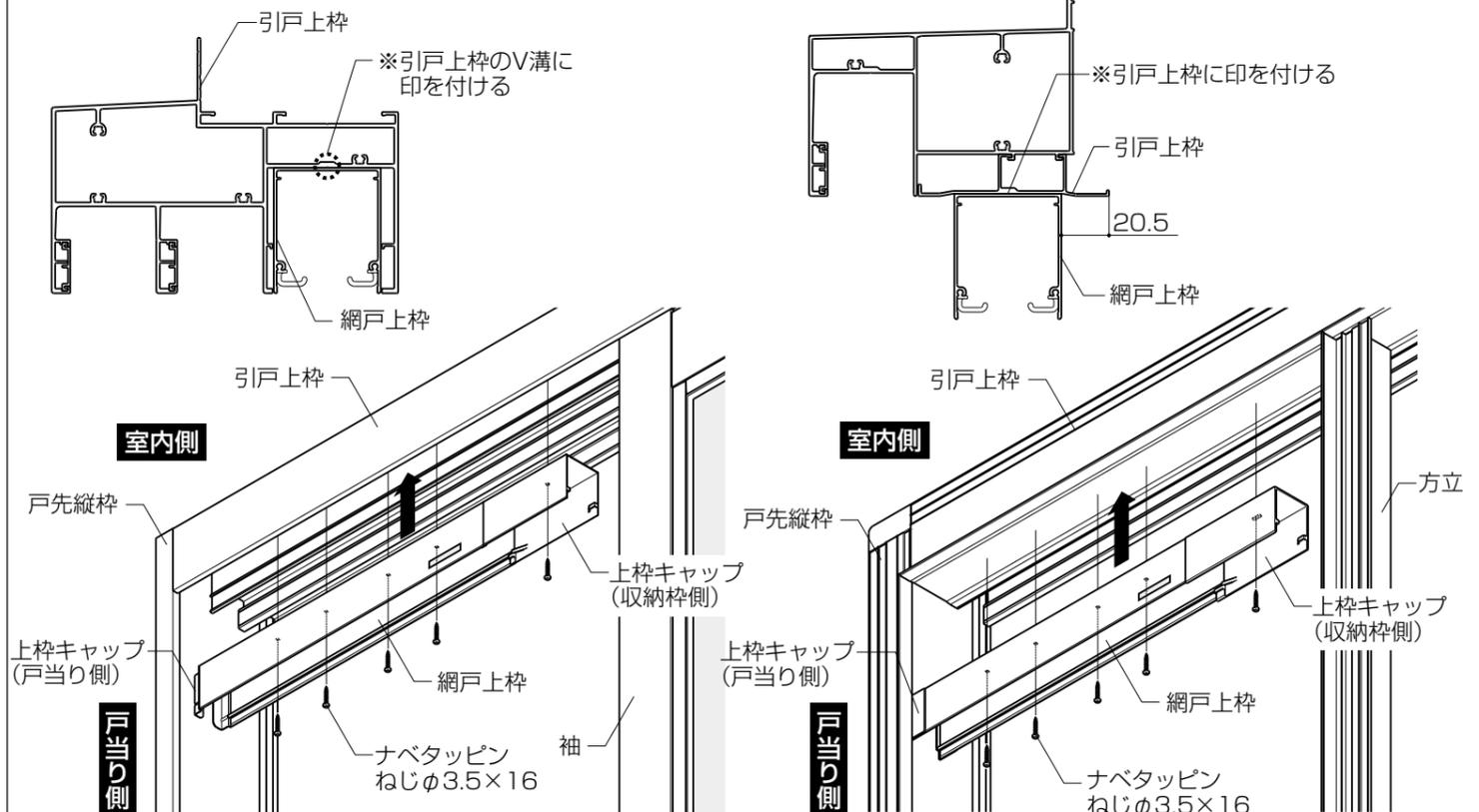


### 3) 網戸上枠・レールの取付け

- ① 網戸上枠を収納側に、すき間がないように位置決めし、φ3の下穴をあけてナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。下穴の位置は、網戸上枠を下図の位置にあてて、印を付けてください。

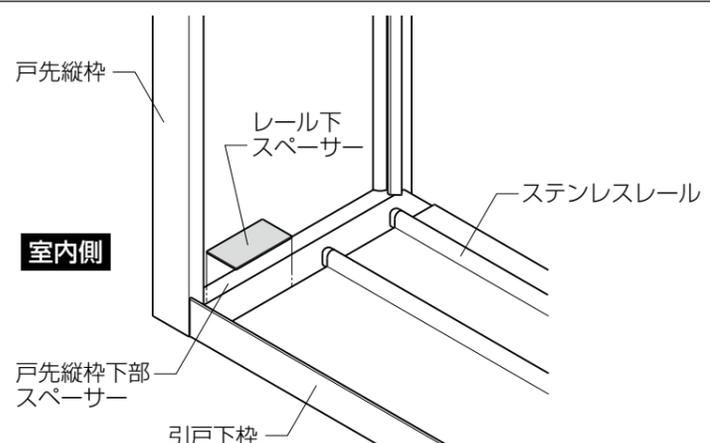
【袖付2枚引き用】

【一本引き用】



### ② レール下スペーサーの取付け (袖付き2枚引きのみ)

取付け枠の下枠の戸当り部のステンレスレールが途中で切れていますので、スペーサーを張付けてください。

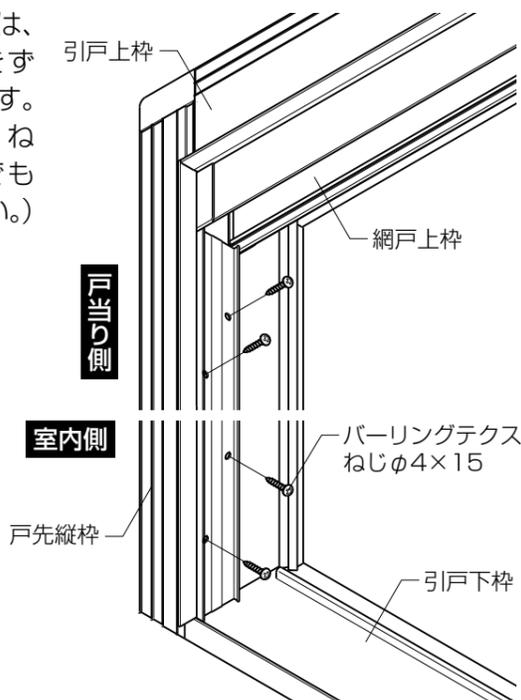


③戸当り枠の取付け

- 戸当り枠は上側シールがある方を上にして取付けてください。取付け後、シールははがしてください。
- ※上下を逆にして取付けますと、マグネットが付かなくなります。
- 戸当り枠の中心と上枠の中心を合わせて、バーリングテクスねじφ4×15で固定してください。

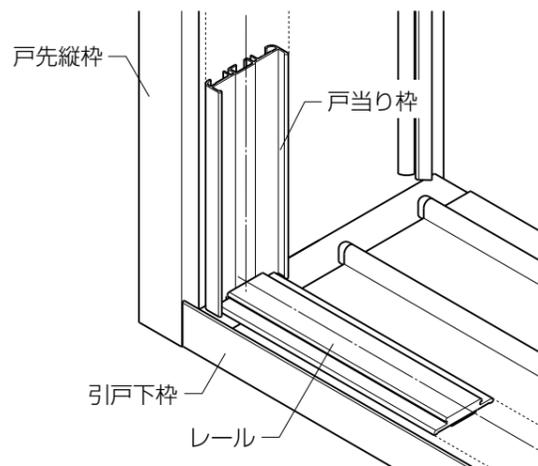
**お願い**  
※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

※ねじがきかない場合は、新しいねじで位置をずらして固定し直します。(一度締めたねじは、ねじがきかない場合でも取外さないでください。)

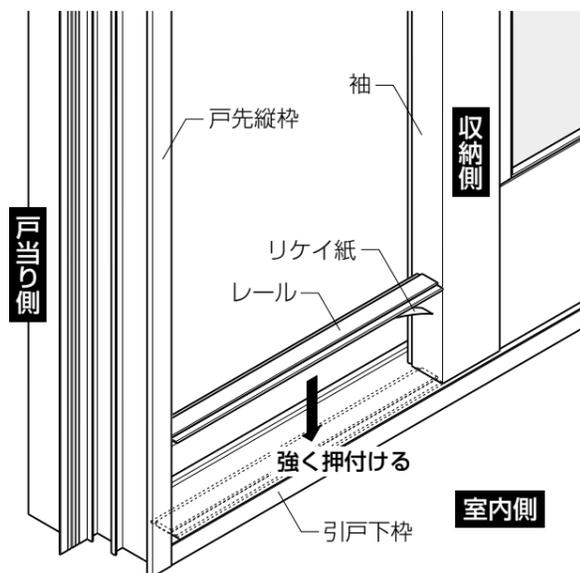


- ④レールの両面テープのリケイ紙をはがし、レール取付け面に強く押付けて圧着してください。

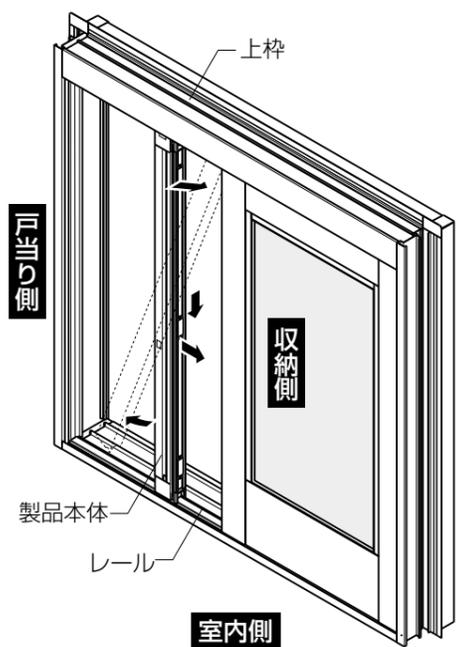
**お願い**  
※戸当り枠とレールは、中心を合わせてすき間がないように取付けてください。中心がずれると、作動不良になるおそれがあります。



**注意**  
●張直しをすると接着力が低下しますので、位置を決めて取付けてください。



3 本体の取付け



**注意**  
●網戸の収納枠は、必ず引戸の収納枠側(袖・方立)に取付けてください。

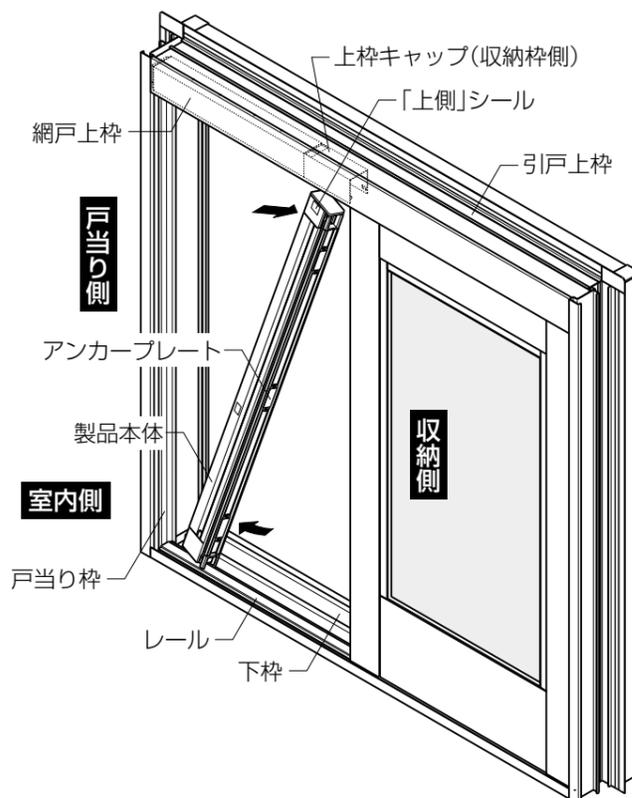
3 本体の取付け

※図は、袖付2枚引き用で説明しています。一本引き用も取付け要領は同じになります。

- ①製品本体の上下を確認してください。「上側」シールを上にしてください。

**お願い**  
※上下を逆に取付けると、作動不良になります。取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

- ②収納枠裏側に付いている、アンカープレートのリケイ紙をはがしてください。
- ③製品本体を斜めにして、上枠とレールの間に入れてください。製品本体は上枠キャップ(収納枠側)より入れてください。



- ④製品本体がレールから浮かないように、レール側に押付けながら、収納側の取付け面(袖・方立)に押付けてください。
- ⑤網戸本体の収納枠に両手を掛け、戸当り方向に引っ張ると取付け面に付いたアンカープレートから製品が外れます。このとき、網戸本体をレールより浮かせるように持ち上げ、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。
- ⑥収納枠に付いていたアンカープレートは、両面テープで仮止めされますので、バーリングテクスねじφ4×10で固定してください。

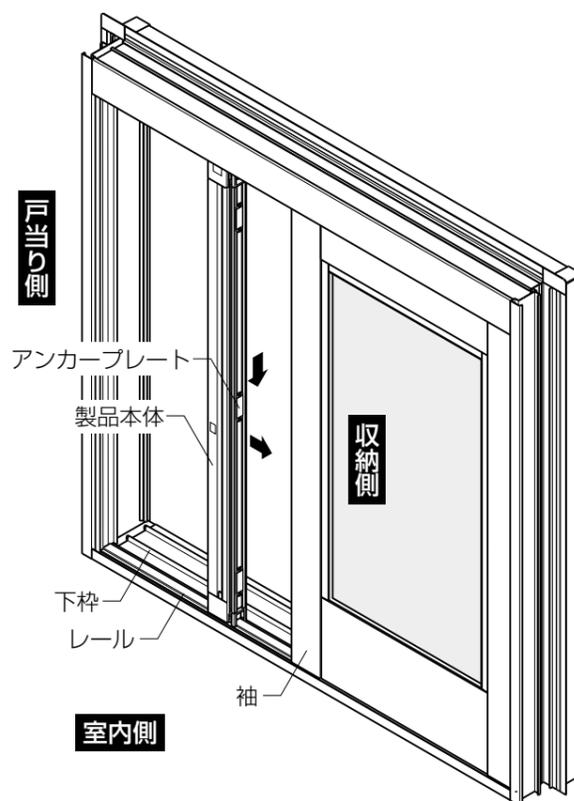
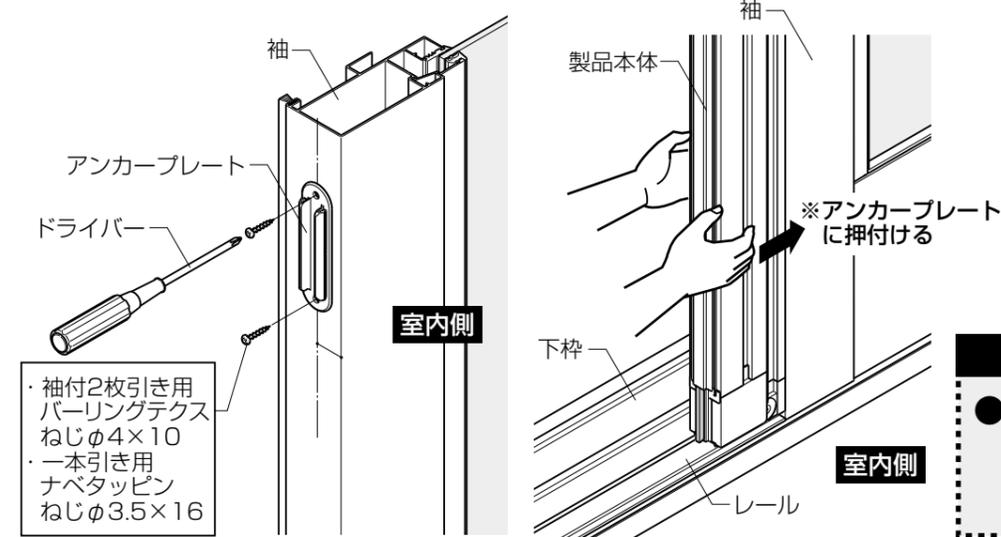
※一本引き用は、φ3の下穴をあけて、ナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。

※ねじがきかない場合は、アンカープレートの取付け位置を少しずらして新しいねじで固定し直します。

**お願い**  
※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり電気ドライバーを使用しますと、取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

- ⑦製品本体の取付け時と同じ要領で、製品が浮かないように収納枠をアンカープレートの突起に合わせ、「パチン」と音がするまで押付けると固定されます。

### ■アンカープレートの固定

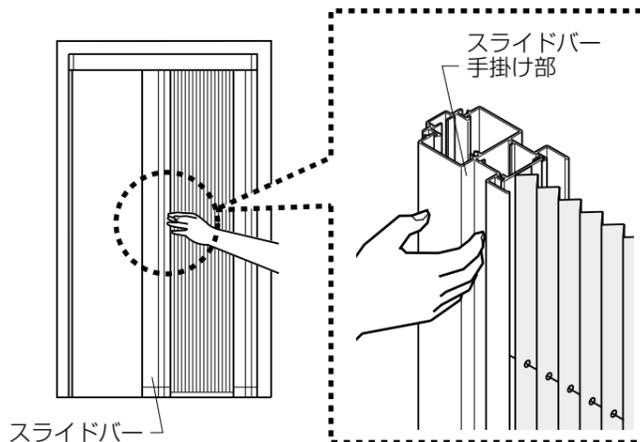


**▲注意**  
●取付け後、収納枠を引き、袖・方立から外れないことを確認してください。

### ■作動確認

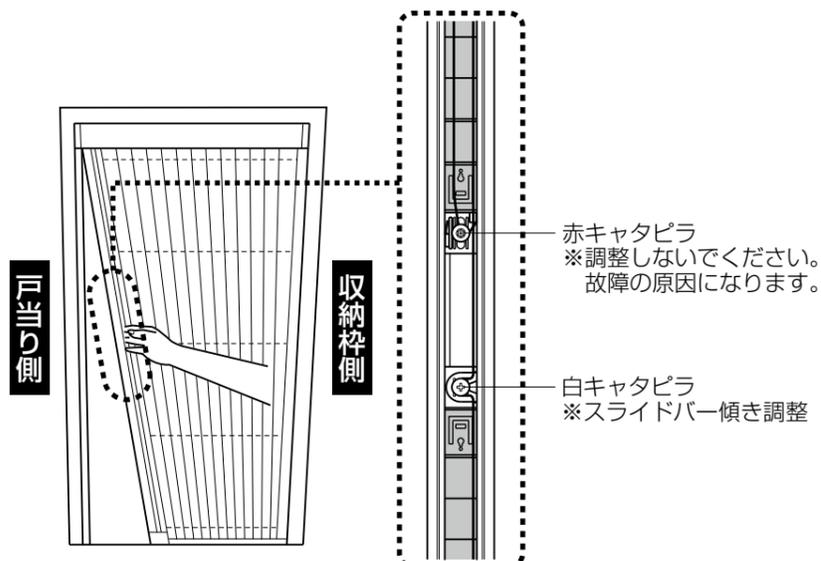
- ①スライドバーの手掛けに手を掛け、作動を確認してください。異常(大きなガタツキ・蛇行・外れなど)がある場合は、説明書の各手順を確認し、修正してください。

**お願い**  
※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、故障の原因となります。



### ■各種調整

【戸当り側又は、収納枠側の額縁が右図のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合】



※以下の手順にしたがい、調整してください。

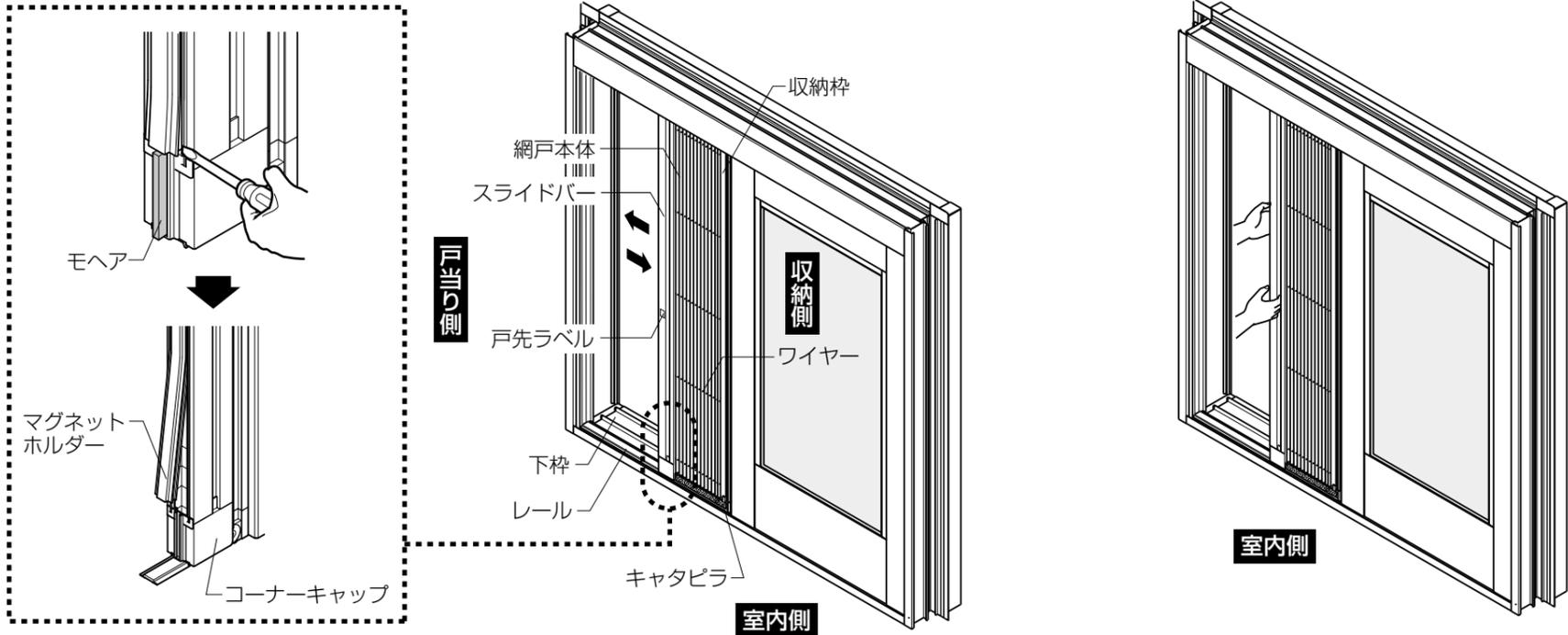
- ①スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
- ②スライドバー戸先面に付いている、マグネットホルダー下部とモヘアの間にマイナスドライバーの先端を斜めから差込み、持ち上げるとマグネットホルダーがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。

③白キャタピラの調整ねじをゆるめます。

④図のようにスライドバーの上下を持って、傾きを調整します。

⑤白キャタピラの調整ねじを締付け固定します。

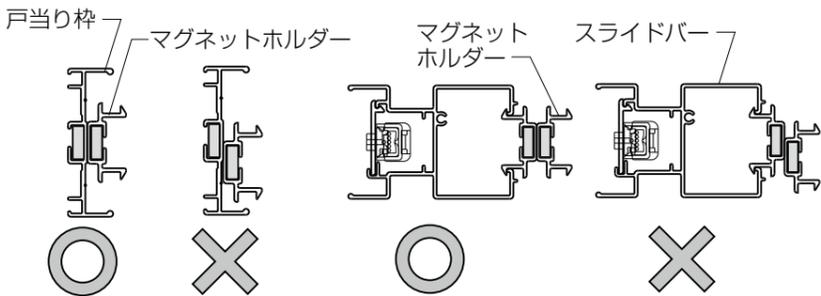
●お願い●  
※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとねじが破損する場合があります。



⑥マグネットホルダーが戸当たり枠(片引き仕様)もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

【片引きの場合】

【引き分けの場合】

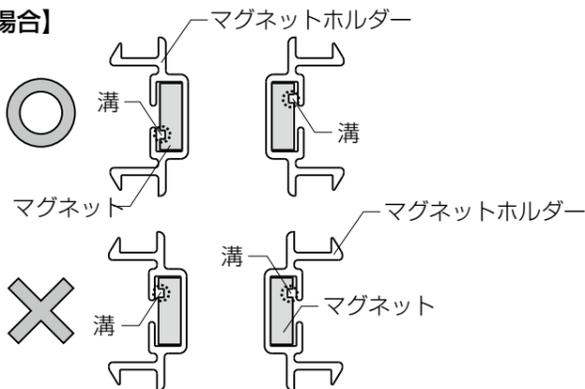


※上図のようにマグネットホルダーがずれて固定される場合は、マグネットの溝を図の通りにしてください。

【片引きの場合】

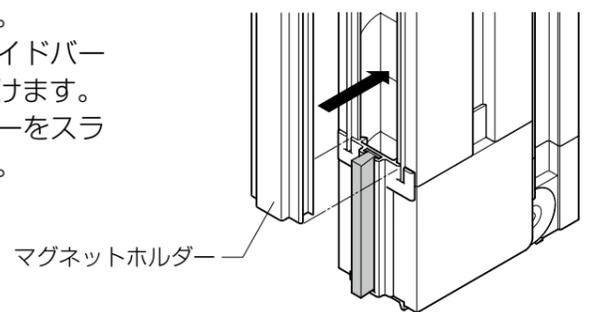


【引き分けの場合】



- ⑦すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けてください。  
※マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押し付け取付けます。  
※下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押し付け取付けます。

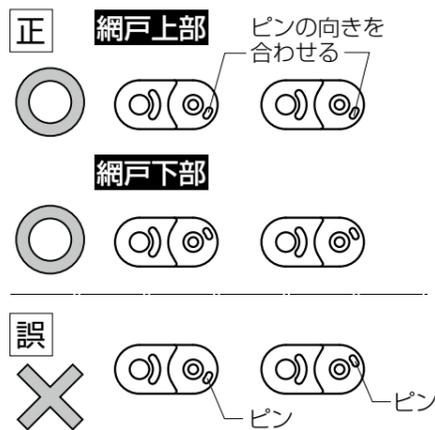
■マグネットホルダーの取付け



【キャタピラが外れてしまった場合】

- ①キャタピラが外れてしまった場合には、下図のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。
- ②はめ込む時は、下図のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

■キャタピラの向き



■キャタピラのはめ方

